

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8259
担当部課名	都市部	区画整理	課	計画指導
事務事業名	準備地区等まちづくり推進事業		事業コード	26120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	総合的、計画的な土地利用を進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	環境と調和し、地域の特性を生かした秩序ある土地利用の実現	~63
施策名	第2施策	総合的な土地利用方針の確立	

2 実施根拠及び関連法令等

土地区画整理法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
土地区画整理事業によるまちづくりを推進するため、土地区画整理組合の設立に向けた研究会等の準備を行う地区(準備地区)に対し、技術アドバイザー派遣などの支援を行う。 また、土地区画整理組合の活動を支援するため、市内の土地区画整理組合で構成される「相模原市土地区画整理組合連絡協議会(以下「連絡協議会」とする。)」に対し、運営費の補助を行う。		土地区画整理組合 (準備中の地区) 連絡協議会	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
準備地区 ... 2地区(道正山地区・当麻地区) アドバイザー派遣... 0回(委員謝礼 0円) 連絡協議会運営費補助(補助金額 45,000円) (構成組合 じおだ地区 相原4丁目地区 相原5丁目地区)		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度
		なし	

4 評価指標

指標名	(活動指標) アドバイザー活動指標	連絡協議会加入率	
指標式	派遣回数(年) / 準備地区数 × 100	加入組合数 / 市内の組合数 × 100	
指標設定の意図	アドバイザー派遣事業の活用状況を量ることにより、事業の必要度の指標とする	組合の連絡協議会への加入状況を量ることにより、連絡協議会への補助金交付の必要度の指標とする	

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	0	0	a	0	b
指標	100	100	c	100	d
指標			e		f
事業費	決算(予算)額	45	45	45	65
	人員・時間数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	人件費	842	842	842	842
	その他経費	0	0	0	0
	合計	887	887	887	907
特定財源	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 C ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = #####	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = \#VALUE!$	$\frac{c}{d} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由:	アドバイザー派遣は平成11年度以降派遣実績が無く、達成度積算不能である。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 C ▼	A:適応している	理由:	アドバイザー派遣は数年間派遣実績がない。連絡協議会への補助金について、「補助金の見直し基準」により小額補助金は廃止の方向にある。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	アドバイザー派遣は数年間派遣実績がないが、専門的なアドバイスへの対価としては妥当である。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 C ▼	A:代替の可能性ない	理由:	アドバイザー派遣は数年間派遣実績がない。(代替性がある。又はニーズがない。)連絡協議会は廃止の方向で検討中。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	アドバイザー派遣は数年間派遣実績がない。(満足な制度ではない。又はPR不足)連絡協議会は、加入状況から見て満足度は高いと思われる。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A:有効である	理由:	土地区画整理事業によるまちづくりを推進するために、土地区画整理組合及び準備地区における活動を支援することは必要と思われる。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 土地区画整理組合及び準備地区における活動を支援する取り組みとして、今までは違った方策を検討する必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 補助金の見直し

7 総合評価

評価 C ▼	他自治体の類似事業との比較	今後の進め方 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	説明 アドバイザー派遣は来年度予算化しない方向で検討中。連絡協議会への補助金は廃止の方向で検討中。

8 二次評価における変更点

--